

者向けマンガ製作後記

石川元章

消費

私が、当機構に出向した二年間に担当した仕事には、不動産取引に関する紛争事例や、判例の調査研究、各種研究会への参加、専門誌への寄稿等がありました。各種出版物の編集発行は、慣れない仕事であったこともあり、特に思い出深いものがあります。

二年間に編集発行した出版物としては、「宅地選びのコツ」(平成六年三月)、「不動産取引用語辞典(三訂版)」(平成六年四月)、「マンガ家取物語」(平成六年三月)、「借家を決める前に」(平成七年五月)があります。

「宅地選びのコツ」は安心できる宅地の選び方の知識を消費者向けにまとめたもので、代々の担当者四人が引き継いで刊行にこぎ着けたものです。阪神大震災の例もあるので、今後更に注目されてよい一冊だと思われまます。

「不動産取引用語辞典(三訂版)」は、当機構のベストセラー(?)の一つで、増補改訂版の改訂作業を前任者から引き継いだものでした。改訂作業は、収録用語約一、〇〇〇語の内約四〇〇語を見直すという大がかりなものになりましたが、内容的には更に充実し、近々第二刷も発行されます。

「マンガ家取物語」は、不動産取引の代表的トラブルに対応して、マイホーム購入までの各ステージ毎に予め消費者が知っているべきポイントを分かりやすく解説したもので、当機構が原作を担当し、大蔵省印刷局が編集発行したものです。本書の構成は、第一「購入計画」、第二「事前調査」、第三「物件調査」、第四「媒介契約」、第五「売買契約」、第六「契約の履行」までの六ステージに分けて、各ステージ毎に実際のトラブル事例をベースにストーリーを展開し、ロールプレイング形式でゴール(住宅の取得)に到る過程を楽しめるようになっていきます。

本書は、当機構の十周年記念式典(平成六年四月十二日)の記念品として配布されることが予定されていたため、製作期間に制約がありました。シナリオの製作、マンガのラフ図製作、修正、清書等を自転車操業的に行うことによって九カ月で完成し、無事、式典に間に合わせることができました。なお、本書は、大蔵省印刷局のマンガシリーズの一つとして一般に販売されており、第二刷も発行されています。近刊の「借家を決める前に」は、借家契約に関して一般消費者が知っておくべきポイント

トを分かりやすく解説したもので、賃貸借に関するマンガパンフレットの発行は当機構でも初めてです。本書の構成は、新婚夫婦が借家探しを始めるところから退去するまでのストーリーに、借家契約に関する代表的トラブルを、「契約前の預り金」、「契約の更新」、「明渡し」の三つのパートに分けて取り上げて、簡単な解説を加えたものとしています。

本書の刊行については、「マンガ家取物語」の原作を行った場合と異なっており、「不動産取引の手引き」の様な賃貸借契約に関する消費者向けの手引き書がなかったこと、マンガの内容面についても当機構で検討する必要があることから、取り上げるべきトラブルの選定や、解説文の検討、ストーリーの検討、絵の修正等に若干の困難がありました。今後、賃貸借に関する本格的な消費者向けの手引き書が刊行されることが期待されます。

以上の様に、当機構に出向中の二年間は、出版物の刊行に明け暮れた感がありますが、出版物の編集作業等を行うことにより、自身大いに勉強することができましたことは、大変貴重な経験でした。最後に、この二年間、ご指導、ご厚誼を賜りました皆様に対しまして、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

(調査研究部調査役)